

■ グループ紹介

清 水 建 設 (株)

はじめに

当社は、初代清水喜助が江戸神田鍛冶町で大工を開業した文化元年(1804)を創業の年として、今年(1988)で184周年を迎えます。

本社(東京)、支店(千葉・横浜・名古屋・大阪・広島・四国・九州・北陸・東北・北海道)、営業所(国内90箇所・海外20箇所)より構成され、建築・土木その他建設工事の請負、地域開発・都市開発・海洋開発等の事業、これら建設工事に関する調査・企画・設計等エンジニアリング、マネージメント及びコンサルティング業務の請負または受託などを主な業務とする総合建設業者であります。

研究・技術開発部門は技術本部を中心とし、技術研究所、大崎研究室、原子力本部、設計本部、建築本部土木本部等各部門において実施しておりますが、ここでは、エネルギー関連技術開発部門における動向を紹介します。

技術本部

スケールの大きい技術開発とその活用の強化を目指し、対象分野別に大きく4つの統括部を設けてあります。社業の中心である建設分野の技術開発の増強、充実を図るために、構造解析、構法、生産、施工を対象とする“建築技術開発統括部”を、また、海洋、地下及び土木技術全般を対象とする“土木技術開発統括部”を、更に、空気環境、水処理、エネルギー、地冷、クリーン環境、農畜産、貯蔵を対象とする“環境技術開発統括部”を設置し、それぞれ担当する分野の技術開発企画から開発及びその活用・展開を行っています。また、建築分野、非土建分野にこだわらないエンジニアリングを行うため、“エンジニアリング統括部”を置き、関連部門の支援を行うとともに、自ら事業化への展開にあたっています。

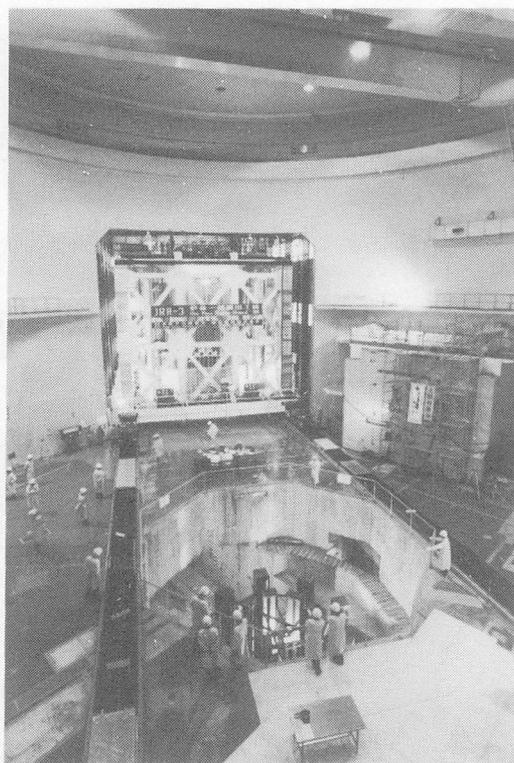
技術研究所

建築構造・土木構造・振動・耐久性・新素材・バイオ等30近い研究グループと企画部・管理部・総務部の3部で構成されています。研究所の運営は「社会のニーズに対応する新技術の研究・開発」「品質・信頼性の

向上」「生産性の向上」の3つの基本方針に基づき、本社管理部門、事業部門などと密接な連携を保ちながら進められています。各研究グループは、専門分野別にグループ化され、クォリティの高い研究・開発に取り組んでいます。

大崎研究室

昭和57年8月に構造分野の世界的権威である大崎順彦元東京大学工学部教授を副社長として招聘し、大崎研究室を設置しました。研究室の組織は、原子力・土木・応用工学と都市工学の4グループで構成されています。高度な解析を行うために専用的大型コンピュータを設置し、解析に必要なプログラムを即応的に開発することが可能です。研究・開発された技術は、自ら建築・土木・地域開発などに生かすとともに、社外からの委託研究課題に適用し社会ニーズに応えています。

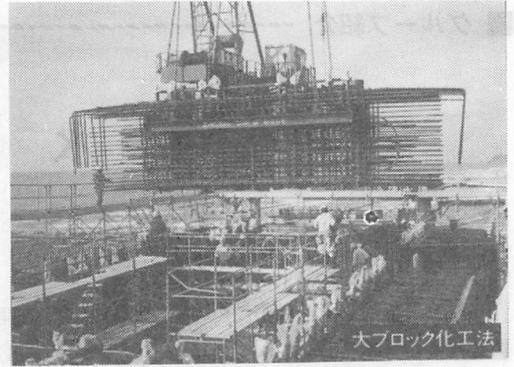


写-1 JRR-3 (日本原子力研究所殿)
炉体一括搬出工法

原子力本部

原子力発電所建設への当社の取組みは早く、同業他社に先駆けて昭和34年12月にわが国初の商業用原子炉の東海発電所（日本原子力発電株式会社殿）建屋工事を受注しました。

現在、原子力本部は、営業部・設計部(複数部)・技術部・プロジェクト部の各部を擁し、原子力発電所をはじめ、原子力関連施設の企画調査・技術開発・設計・施工コンサル等を行っています。更に、軽水炉の技術高度化への研究開発に積極的に参画し、原子力発電所建屋の設計・施工の合理化に取り組んでいます。また、原子力発電所の新立地方式の開発、高速増殖炉等将来炉施設の技術開発、原子炉の廃炉技術開発、原子燃料サイクルの確立に向け、再処理施設の研究、放射性廃棄物の貯蔵・処分技術の開発など、数多くの技術開発課題を積極的に進めています。



写-2 鉄筋大ブロック化工法（タービン架台）

所在地：〒104 東京都中央区京橋 2-16-1
(文責：原子力本部営業部課長 瀧谷紳一)

